

長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第12号
(令和元年 7月)

文責 西澤 庄藏

空手道の県大会があり、男子団体・個人で快挙を成し遂げました。

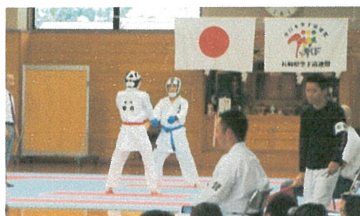
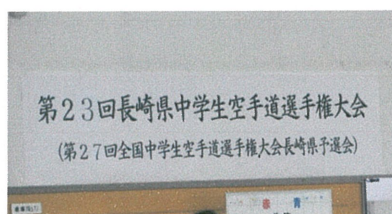
06/23(日)佐世保市の長崎県立武道館にて長崎県中学生空手道選手権大会が開催され、空手道部男女が出場しました。この大会は5月に行われた平戸市予選で顕著な成績を収めた個人・団体が出場するものです。この舞台に立つこと自体、至難の業で、価値あるものです。その「夢舞台」に、本校選手は、形の部、組手の部に、男女とも個人・団体それぞれにエントリーされました。

形の部は静かな中に選手のかげ声と息遣いに「釘づけ」になり、組手の部は選手の一挙手一投足に「釘づけ」になると、どちらも見応え十分でした。

中でも、男子団体組手の部の準決勝・決勝は、最後の大将戦で勝敗の決する大一番でした。応援している私が緊張するぐらいの一進一退の攻防でした。落ち着いてポイントを獲得する生月中学校選手に勝利の女神が微笑み、選手・応援の方々とともに歓喜の瞬間を味わうことができました。ふだんのたゆまない練習の成果が一大番で発揮できたことに嬉しさを感じました。

女子選手の頑張りも印象に残りました。団体組手の部の対戦では、僅差で敗戦した先鋒選手が悔しさを抑えて次の中堅選手に背中を叩いて鼓舞する姿に、絶対にあきらめない心の強さを感じ、感銘を覚えました。改めて、スポーツを通じての成長場面に遭遇した思いです。

男子組手の部で優勝、男子個人形の部で破戸峻佑(1-2)さんが優勝という輝かしい結果でした。両者は全国大会の切符を手に入れました。ちなみに、全国大会は、8月に札幌市(北海道)で行われるとのことです。最高峰の舞台でも自己の持てる力を大いに発揮してほしいと思います。



消防署の方々をお招きして、救急救命に関する学習を行いました。

06/27(木)平戸市消防署の方々に講師に、1年生を対象とした救急救命講習会を開催しました。この講習会は、「水の事故」が多くなる夏休みを前に、自分自身はもちろん、他人の命も守る術を身につけることを目的に、毎年この時期に開催しているものです。小学校でも受講したという事実で満足することなく、学び直しを通じて「いざ」というときに備えることが肝要だと考えます。

この日は、小グループに分かれて、一人一人が実際の器具に触れてじっくりと体得することができました。AED(自動体外式除細動器)を前に戸惑う場面もあり、じっくりと学習することに大きな意義を見出した講習でした。大声を出して協力者を募るなど、消防署の方々の経験に基づいた説明は、こちらも勉強になるものでした。

ちなみに、2年生では応急処置法を中心とした学習、3年生では水難救助法を中心とした学習を、この7月に行います。「長崎っ子の心を見つめる教育週間」での「命(いのち)」について考える授業と合わせて、今週以降、しばらく続いていきます。

